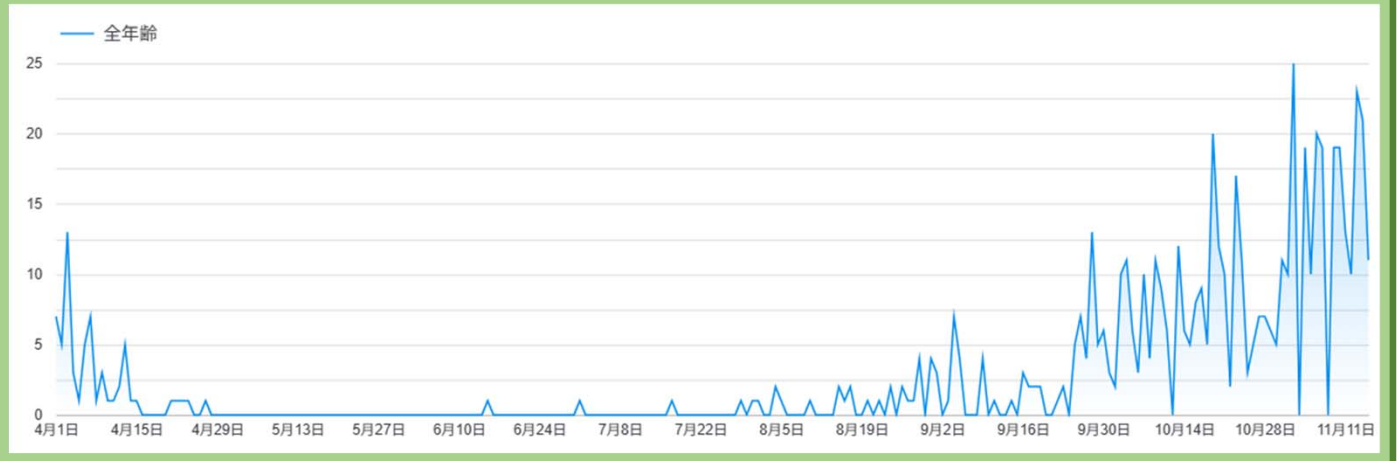
岡山県内感染状況・医療提供体制の分析（2026年11月16日公表）

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の状況

区分	モニタリング項目		前回の数値（11月6日公表）10月26日～11月1日	現在の数値（11月13日公表）11月2日～11月8日	前回との比較
感染状況	① 定点当たり患者報告数（岡山県感染症週報より） 報告者数：県内50定点医療機関において1週間に診断した患者数 定点当たり数：1医療機関当たりの1週間での平均患者数	報告数	42人	27人	↘
		定点当たり数	0.84人	0.54人	↘
		報告数に占める60歳以上の割合	23.8%	7.4%	↘
入院状況	② 入院患者数（入院基幹定点サーベイランスより）		1人	2人	↗
	③ 人工呼吸器利用（入院基幹定点サーベイランスより）		0人	0人	→

リアルタイムの感染状況

季節性インフルエンザの流行（県内約10施設/日単位）（2026年4月1日から11月15日まで）



＊実証研究として岡山大学によって実施されており今後も改修予定　（岡山県感染症対策ネットワークHPより）

岡山県内に発令中の警報など

インフルエンザ注意報
腸管出血性大腸菌感染症注意報

分析コメント（岡山県専門家有志）

新型コロナウイルス感染症定点当たり報告数は0.54人と減少。ハイリスク患者は早期診断・早期治療が必要、またワクチン接種も推奨。

季節性インフルエンザは定点当たり報告数が6.34人から8.80人と増加。学級閉鎖や病院職員の感染も続く。ワクチン接種が望ましい。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎も多い。RSウイルス感染症も増加中。

詳細はこちらより

岡山県感染症対策ネットワーク

岡山県感染症情報センター